

## 栃木県及び周辺の地震活動（令和6年7月）

### 【地震活動概況】

今期間に県内で観測した最大震度は3でした。期間内に県内で震度1以上を観測した地震は14回（前月15回）、震度3以上を観測した地震が3回（前月2回）ありました。

### 【栃木県及び周辺の地震活動】

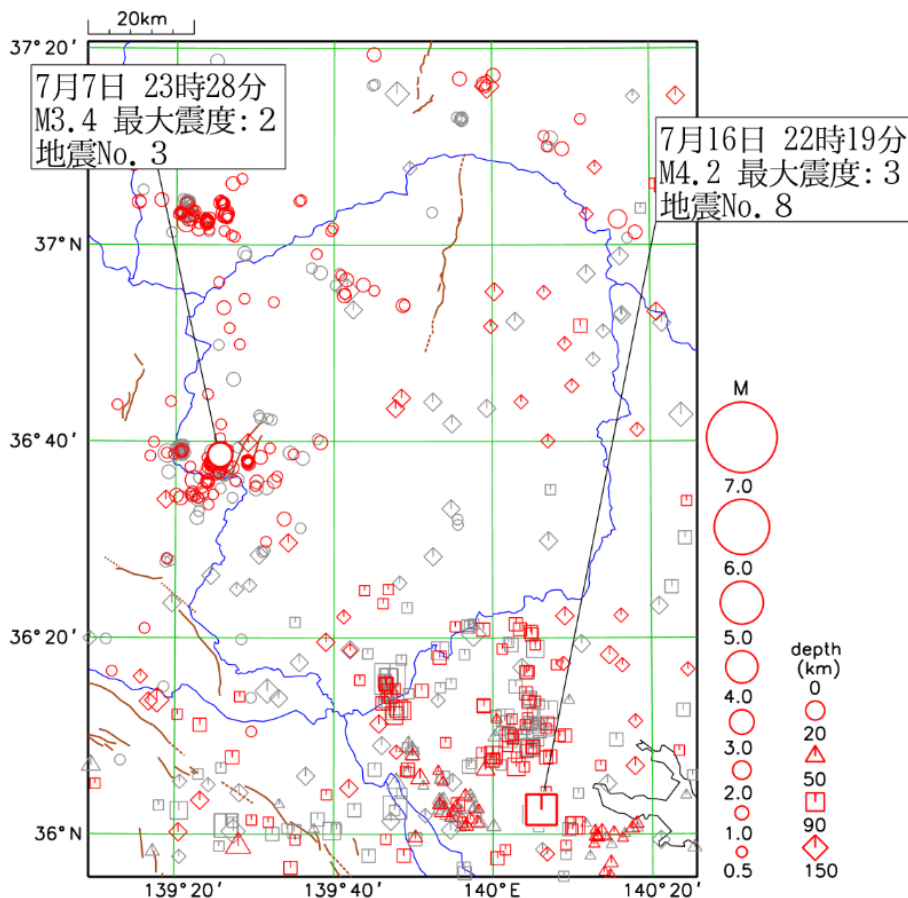


図1 震央分布図（2024年6月1日～2024年7月31日）

- ・今期間の地震活動を赤色で、前月の地震活動を灰色で示しています。
- ・図中の吹き出しを付けた地震は、県内震度観測点で震度3以上を観測した地震及び県内を震源とする震度1以上を観測した地震です。地震No.は県内で震度1以上を観測した地震のリストに対応しています。
- ・Mはマグニチュードで0.5以上、深さ（depth）は150kmまでの地震を示しています。
- ・図中の茶色線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示しています。

本資料は国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。※データについては精査により、後日修正することがある。また、本資料中で使用している地図は、『数値地図 25000(行政界・海岸線)』（国土地理院）を加工して作成した。

【7月に県内で震度1以上を観測した地震のリスト】

地震 No.	発震時		震央地名	北緯	東経	深さ (km)	マグニ チュード*	国内最 大震度	県内最 大震度
	月日	時分							
1	7月4日	10時25分	茨城県北部	36° 28.0'	140° 36.2'	55	4.3	3	3
2	7月4日	12時12分	千葉県東方沖	35° 12.5'	140° 27.8'	49	5.2	4	2
3	7月7日	23時28分	栃木県北部	36° 38.6'	139° 25.6'	6	3.4	2	2
4	7月8日	5時01分	小笠原諸島西方沖	27° 02.4'	139° 16.8'	598	6.4	3	1
5	7月10日	17時39分	福島県沖	37° 04.2'	142° 17.2'	18	4.8	1	1
6	7月11日	0時00分	茨城県北部	36° 27.9'	140° 35.8'	55	3.5	2	2
7	7月13日	13時54分	埼玉県南部	35° 58.7'	139° 28.0'	47	3.2	1	1
8	7月16日	22時19分	茨城県南部	36° 02.5'	140° 06.0'	65	4.2	3	3
9	7月18日	20時07分	八丈島東方沖	33° 34.0'	140° 14.5'	100	5.7	3	1
10	7月19日	0時17分	茨城県南部	36° 02.3'	140° 06.1'	63	3.8	2	2
11	7月20日	20時15分	茨城県沖	36° 44.4'	141° 33.0'	36	5.0	3	2
12	7月22日	10時07分	茨城県北部	36° 46.7'	140° 44.6'	89	4.8	3	3
13	7月27日	6時39分	茨城県南部	36° 02.3'	140° 06.0'	63	3.2	1	1
14	7月31日	1時47分	東京都多摩東部	35° 40.9'	139° 34.6'	121	4.7	3	2

・各地震の震度1以上を観測した観測地点名については、気象庁HP「震度データベース検索」により確認できます。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.html>

【震央分布図範囲内の地震】

1. 栃木県北部（地震No. 3）

7日23時28分に栃木県北部で発生した地震（深さ6km、M3.4）により、栃木県で震度2を観測したほか、群馬県で震度1を観測しました。栃木県では日光市足尾町中才で震度2を、日光市湯元で震度1を観測しました（図2）。

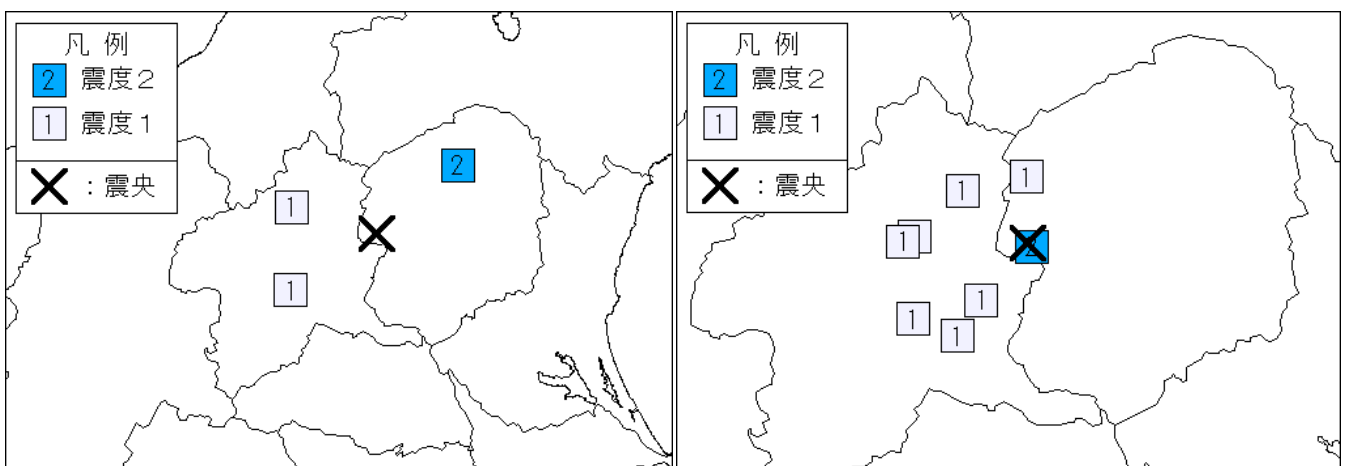


図2 7日23時28分 栃木県北部の地震 左図：地域震度 右図：地点震度

## 2. 茨城県南部（地震No. 8）

16日22時19分に茨城県南部で発生した地震（深さ65km、M4.2）により、栃木県、茨城県で震度3を観測したほか、関東地方と福島県、静岡県、および山梨県で震度2から1を観測しました。栃木県では鹿沼市、真岡市で震度3を、13市町で震度2を、10市町で震度1を観測しました（図3）。

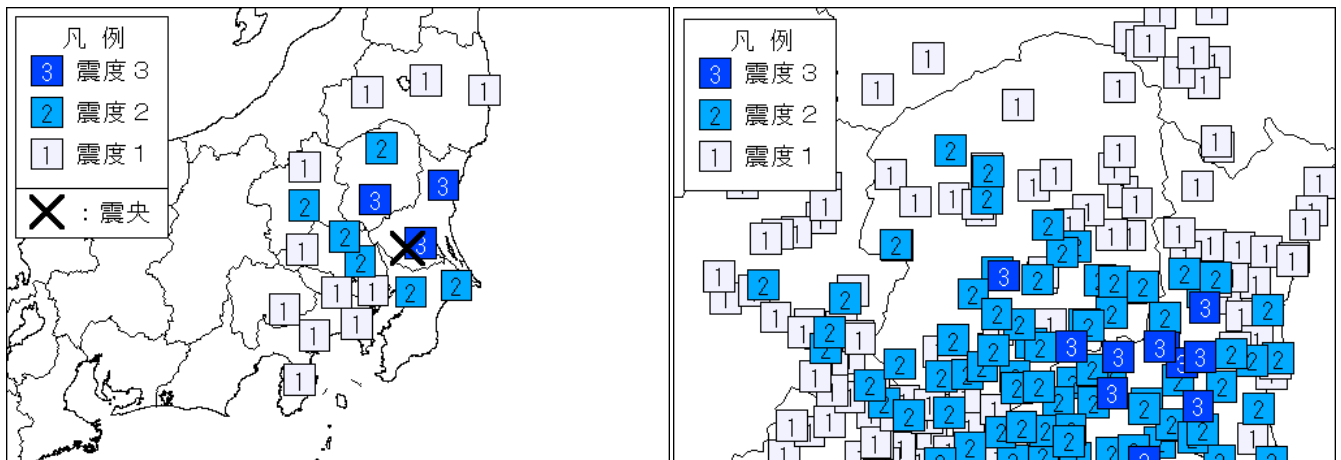


図3 16日22時19分 茨城県南部の地震 左図：地域震度 右図：地点震度

### 【震央分布図範囲外の地震】

## 1. 茨城県北部（地震No. 1）

4日10時25分に茨城県北部で発生した地震（深さ55km、M4.3）により、栃木県、茨城県、および福島県で震度3を観測したほか、神奈川県を除く関東地方と福島県で震度2から1を観測しました。栃木県では真岡市、市貝町で震度3を、13市町で震度2を、9市町で震度1を観測しました（図4）。

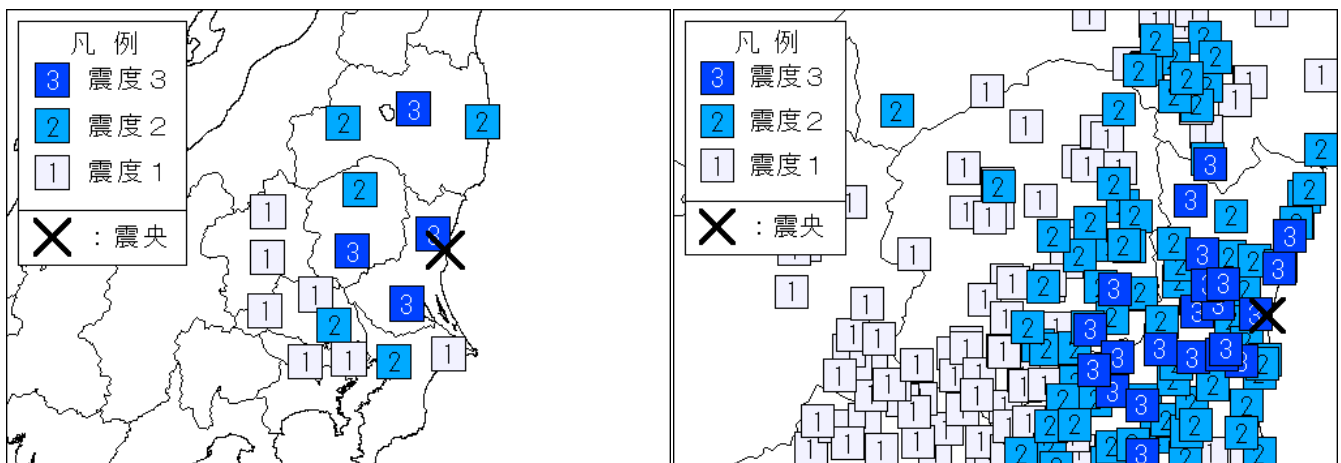


図4 4日10時25分 茨城県北部の地震 左図：地域震度 右図：地点震度

## 2. 茨城県北部（地震No. 12）

22日10時7分に茨城県北部で発生した地震（深さ89km、M4.8）により、福島県から埼玉県にかけて震度3を観測したほか、東北地方、関東地方、および新潟県で震度2から1を観測しました。栃木県では宇都宮市、鹿沼市、茂木町、壬生町、高根沢町で震度3を、20市町で震度2を観測しました（図5）。

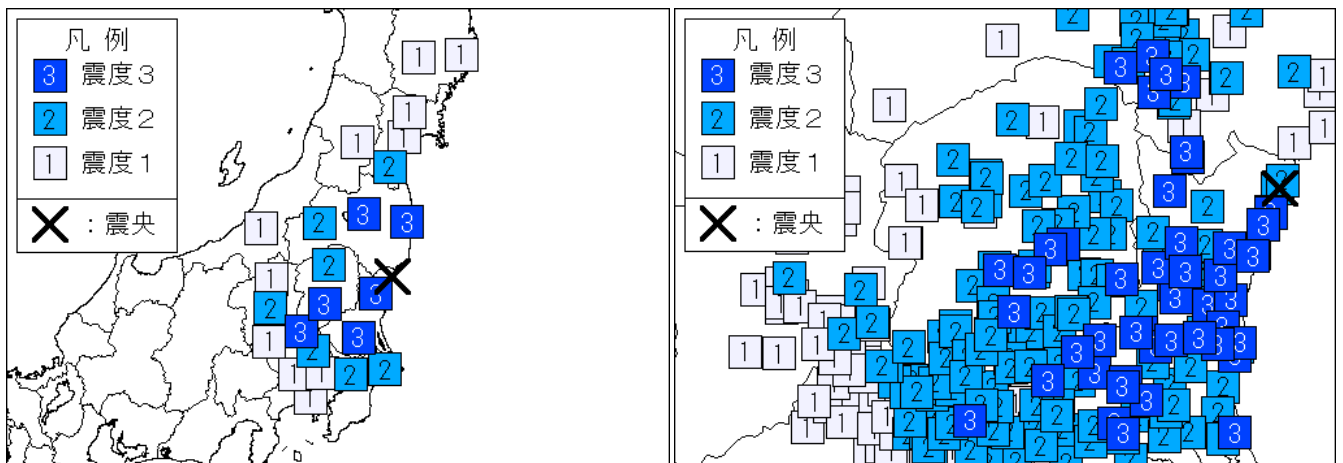


図5 22日10時7分 茨城県北部の地震 左図：地域震度 右図：地点震度

### 【防災メモ】大きな揺れを体験することの意味

学校や職場などで行う避難訓練、それは大きな揺れが発生したと仮定しての訓練です。大きな揺れをもたらすのは規模の大きい地震ですが、自然界では規模の大きい地震ほど起こる確率が低く、結果として大きな揺れを体験する機会も少なくなります。よって、過去に大きな揺れを体験したごく少数の人は訓練でも様々な学びが得られる一方、そうではない大半の人は大きな揺れを我が事のように捉えることができず、いざという時にどのように行動すべきか今一つピンと来ないのではないのでしょうか。大きな揺れを足先から感じ取り、自分で何ができるのか、何が危ないのかを考える、それは本番である大きな揺れの地震に被災する前にぜひ体験しておくべきことです。

では、大きな揺れを体験するにはどうすればよいのでしょうか。お住まいの自治体に防災体験施設があれば地震体験ができる可能性があるほか、防災イベント等で起震車に搭乗する方法もあります。家にいながらにして体験したい、そんな時は地震時の様子を撮影した動画を見るのもよいでしょう。実際に足元からの揺れは感じられませんが、動画を見るだけでもその迫力は十分に伝わると思います。

近年では仮想現実（バーチャルリアリティ）の技術を用いた防災体験を提供する施設も出てきています。これら様々な施設を積極的に用いながら、自身の防災意識を効果的に高めていきましょう。

- ・ 栃木県で地震体験ができる施設（栃木県防災館HP）  
<http://www.t-bousaikan.jp/>
- ・ VR防災体験車の導入について（栃木県HP）  
<https://www.pref.tochigi.lg.jp/102/houdou/20240515vrbousai.html>

資料についての問い合わせ先：宇都宮地方気象台 電話 028-635-7260